



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東名

上場会社名 萩原電気株式会社

コード番号 7467 URL <http://www.hagiwara.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 岩井 三津雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 福嶋 洋二

TEL 052-931-3511

四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	67,710	5.1	2,065	9.2	2,009	4.6	1,263	6.8
27年3月期第3四半期	64,424	1.4	1,891	8.8	1,920	10.8	1,182	19.8

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,220百万円 (△9.7%) 27年3月期第3四半期 1,351百万円 (12.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第3四半期	152.15	—
27年3月期第3四半期	142.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	47,387	23,967	50.6
27年3月期	46,670	23,328	50.0

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 23,967百万円 27年3月期 23,328百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
28年3月期	—	35.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年3月期期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 5円00銭

28年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 35円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	91,500	2.8	3,000	5.4	2,950	2.8	1,900	3.8	228.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	8,318,000 株	27年3月期	8,318,000 株
28年3月期3Q	12,521 株	27年3月期	12,421 株
28年3月期3Q	8,305,532 株	27年3月期3Q	8,305,629 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、期初からの円安基調の継続、原油安を背景とした企業業績の改善を受け、設備投資や雇用環境に改善の兆しがみられるなど穏やかな回復傾向となりました。

一方、中国をはじめとするアジアの新興国の景気減速等の海外リスクが顕在化しており、依然先行き不透明な状況となっております。

このような環境のもと、当社グループの主要ユーザーである自動車関連企業では、国内及び東南アジア市場においては停滞感がある中、引き続き好調な北米市場で販売を伸ばすなど、まだら模様の動きとなったものの、業績は概ね堅調に推移してまいりました。

当社グループにおきましては、総力をあげて売上高の伸長に努めるとともに、継続的な販売費及び一般管理費の抑制を進めるなど収益の確保に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、677億10百万円（前年同四半期比5.1%増）、営業利益は20億65百万円（前年同四半期比9.2%増）、経常利益は20億9百万円（前年同四半期比4.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億63百万円（前年同四半期比6.8%増）の増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(デバイスビジネスユニット事業)

デバイスビジネスユニット事業におきましては、自動車関連企業向けを主力に、マイクロプロセッサ、システムLSI、アナログ・パワー半導体、コンデンサ、リレー、コネクタ等の販売ビジネス、システムLSI設計、ソフトウェア開発等の技術サポートビジネスを展開しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、原油安の影響や主力車種のモデルチェンジを控えたハイブリッド車を中心としたエコカー生産需要が弱含みで推移したものの、足元での新型ハイブリッド車の好調な需要などもあり、デバイスビジネスユニット事業の売上高は、562億円（前年同四半期比4.1%増）、営業利益は23億71百万円（前年同四半期比0.4%増）となりました。

(ソリューションビジネスユニット事業)

ソリューションビジネスユニット事業におきましては、お客様に対し、自社製品を含めたIT機器の提供やアプリケーション開発をはじめとする課題解決型ソリューション提供ビジネス、計測分野やITプラットフォーム基盤構築分野におけるソリューション提供ビジネス、お客様製品に組み込まれる電子機器の販売ビジネス、電子・情報プロダクツの開発・製造ビジネスを展開しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、主要顧客企業である自動車関連企業をはじめとした企業の設備投資需要や情報化投資需要を的確に捉えると共に、FA・計測分野における提案活動、協業企業との展示会開催等をはじめとする当社認知度向上策を背景とした需要拡大により、ソリューションビジネスユニット事業の売上高は115億9百万円（前年同四半期比10.2%増）、営業利益は6億26百万円（前年同四半期比63.3%増）の増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末に比べて7億16百万円増加し473億87百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8億25百万円増加し428億13百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1億2百万円減少しましたが、電子記録債権が5億89百万円及び商品及び製品が2億79百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1億9百万円減少し45億73百万円となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて77百万円増加し234億19百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて14億51百万円増加し202億35百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が2億89百万円及び未払法人税等が4億46百万円減少しましたが、短期借入金が8億31百万円及び1年内返済予定の長期借入金が17億50百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて13億73百万円減少し31億83百万円となりました。これは主に、長期借入金が13億36百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて6億39百万円増加し239億67百万円となりました。

この結果、自己資本比率は50.6%（前連結会計年度末は50.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年11月6日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,263	5,160
受取手形及び売掛金	25,512	25,507
電子記録債権	682	1,271
有価証券	—	100
商品及び製品	9,438	9,717
仕掛品	237	388
原材料及び貯蔵品	155	141
その他	701	530
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	41,987	42,813
固定資産		
有形固定資産	2,703	2,675
無形固定資産	189	151
投資その他の資産		
その他	1,811	1,768
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	1,790	1,747
固定資産合計	4,682	4,573
資産合計	46,670	47,387
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,929	11,639
短期借入金	4,024	4,855
1年内返済予定の長期借入金	794	2,545
未払法人税等	555	109
その他	1,479	1,085
流動負債合計	18,784	20,235
固定負債		
長期借入金	4,008	2,672
退職給付に係る負債	66	12
その他	482	498
固定負債合計	4,557	3,183
負債合計	23,341	23,419

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,301	3,301
資本剰余金	3,792	3,792
利益剰余金	15,571	16,254
自己株式	△12	△12
株主資本合計	22,653	23,335
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	261	233
為替換算調整勘定	342	323
退職給付に係る調整累計額	70	75
その他の包括利益累計額合計	675	632
純資産合計	23,328	23,967
負債純資産合計	46,670	47,387

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	64,424	67,710
売上原価	58,056	61,024
売上総利益	6,367	6,685
販売費及び一般管理費	4,476	4,620
営業利益	1,891	2,065
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	10	13
業務受託手数料	25	9
為替差益	37	—
その他	11	13
営業外収益合計	88	42
営業外費用		
支払利息	36	36
為替差損	—	41
売上債権売却損	17	15
その他	4	5
営業外費用合計	58	99
経常利益	1,920	2,009
特別利益		
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産処分損	2	3
特別損失合計	2	3
税金等調整前四半期純利益	1,918	2,005
法人税等	735	741
四半期純利益	1,182	1,263
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,182	1,263

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	1,182	1,263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89	△27
為替換算調整勘定	62	△19
退職給付に係る調整額	17	4
その他の包括利益合計	168	△42
四半期包括利益	1,351	1,220
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,351	1,220

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デバイス ビジネス ユニット事業	ソリューション ビジネス ユニット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	53,981	10,443	64,424	—	64,424
セグメント間の内部売上高 又は振替高	83	42	126	△126	—
計	54,064	10,485	64,550	△126	64,424
セグメント利益	2,361	383	2,745	△854	1,891

(注) 1 セグメント利益の調整額△854百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、報告セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更しております。

なお、当該変更が当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デバイス ビジネス ユニット事業	ソリューション ビジネス ユニット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	56,200	11,509	67,710	—	67,710
セグメント間の内部売上高 又は振替高	96	29	125	△125	—
計	56,296	11,539	67,835	△125	67,710
セグメント利益	2,371	626	2,998	△932	2,065

(注) 1 セグメント利益の調整額△932百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。